



ともまち べ や  
**④ 伴待部屋**  
 1928(昭和3)年築  
 人力車夫のための  
 控え場所兼休憩所と  
 して、主屋のすぐ隣  
 に建てられています。  
 近代の大規模邸宅  
 における接客のあり  
 方を示す建物です。

きた かぶき もん  
**⑤ 北冠木門**  
 数寄屋風の門で回  
 遊式庭園の点景の  
 一つです。枝打ち跡  
 を残した丸太を用いた  
 柱や中央を棧瓦・軒  
 を銅板で葺いた勾配  
 の緩い屋根に特長  
 があります。



**⑧ 長寿橋**  
 西日本随一の青石の一枚岩でできた橋です。(胴回り 約6.0m 長さ 約8.9m)



**⑫ トンネル口之亭** (休憩所)  
 座って西池からの庭園の景観が見られ、トンネルからの涼風も受け、見学途中の  
 憩いの場となっています。車いすの方も利用できるようスロープを設置しています。  
 ※無料飲料サーバーを設置しています。



**⑬ トンネル(矢ノ島隧道)**  
 1915(大正4)年完成  
 全長が約37.7mある手掘りのトン  
 ネルで、入り口はアーチ型に石積み  
 した門を構え、出口は長次郎翁のプ  
 ライベートビーチへと繋がっています。  
 庭園に海からの涼しい風を送り込む  
 ため、矢ノ島に掘られました。



**⑭ プライベートビーチ**  
 かつて子供達に人気の岩場と小さな浜  
 辺が広がっていたトンネルの向こう側は、  
 今でも当園の絶景の一つになっています。



しおいり せいらせんかいゆうてい じん  
**潮入式池泉回遊庭園**  
 当園は、大正初期から昭和の初めにかけて造園され、庭園内では海から  
 水をひいた池が潮の干満に応じて水位が上下する、大変珍しい潮入  
 式池泉回遊庭園となっています。作庭は武者小路千家の家元名代で  
 あった三代目木津宗泉(宗詮)氏の指導で完成したものです。開園以来、  
 皇族の方々をはじめ、著名人も多数来園されている紀州路随一の大庭  
 園です。現在の規模は18,000坪で、隣接地内には「和歌山県立自然  
 博物館(水族館)」があり、また、近くには日本4大漆器の黒江の古い  
 町並みがあり、絶好の観光コースとなっています。



みなみかぶきもん  
**⑨ 南冠木門(編笠門)**  
 門扉はなく両側は生垣で仕切られ  
 ている数寄屋風の門で湾曲した冠  
 木や隙間なく並べた垂木で造られ  
 た編笠門形式と呼ばれる屋根の形  
 に特長があります。



にしかぶきもん  
**⑩ 西冠木門**  
 屋根の中央部を軒廻りより一段高く  
 して、中央部を棧の付いた幅広板  
 葺状に仕上げ、軒廻りを小幅の一  
 文字葺状の仕上げとするなど工夫  
 がみられます。



**⑪ 中門**  
 庭園の点景となる各門の中では最  
 も簡略だが、軒付の形式や箱棟の  
 意匠に工夫が凝らされています。



**カワツルモ 灯笼**  
 庭内には多数の石灯笼があります。江戸時代キリシタン禁制に隠れマリア様を彫り込み、  
 これに祈りを捧げたという珍しいマリア灯笼、そのほか十二支の絵やハートマーク(猪の目  
 模様)が彫られた灯笼もあります。庭園のどこにあるか探してみるのも楽しみの一つです。



西池



東池

海水と淡水が入り混じる当園の池には、汽水域のきれいな水でしか育たない関西でも珍しいカワ  
 ツルモやボラ、ハゼ、ウナギなどたくさんの魚が生息しています。また、潮の満ち引きで浮き沈みす  
 る沢渡石があります。